定款 (学会の目的)	学会の 使命	学会が具備 すべき機能	現状分析	長期目標(2010年目途)		中期目標(2005年まで)			対象部門(新組織)			
				長期目標	長期計画	中期目標	中期計画/事業(アクションブラン)	お育 1 Ⅲ 国際 国際	女 省 全 支 援	情報 第 料	総務・経理	会員・支部
		先端性 b)学術·技術の		学術・技術の革新・蓄積・継承	先端的な学術技術の研究水準の維持と継続的蓄積、継承	論文集の国際的認知の確立プログラムの実施	発表の手段としてISIの取得に向けた活動プログラムの作成、推進	0	(0		
						先端的学術研究の推進	新たな学術領域の形成を支援する体制の整備					
1			都市再生、地球環境への専門的解答の欠如 学術・技術開発の継続的展開の推進 社会的ニーズと研究委員会体制のズレ 拡大 実用に供する技術が少ない 戦略性(目的、重点分野、システム)の 不足	社会の構造的変化に対応した学問領域の確立	既存の学問領域の再編、新たな学問領域の確立	国土・社会資本に関わる主要な社会問題解決への提案	社会連携プロジェクトの発足		00			
				(マクロ土木工学の創設等)		土木構造物の長寿命化・維持管理技術の拡充	土木構造物の長寿命化・維持管理技術の拡充、研究の推進				_	
						他機関との連携	周辺分野・学際分野への新たな展開を模索、学術領域の再編・統合				_	
				災害対応技術の確立	災害対応技術の総合・横断化の推進	災害緊急体制の確立	災害調査・災害直後の緊急研究体制の点検と拡充		0	_	_	
					カナエル - タナス + / F o // O / 1 + M / / o + 1 + / F	災害対応技術の体系化	災害対応技術の体系化、横断的安全問題の体系化		0	$\perp \perp \perp$	\rightarrow	\vdash
	1			都市再生に資する技術の確立	都市再生に資する技術の総合・横断化の推進	流域圏管理の計画技術の確立	計画・制度、防災、社会基盤施設の維持管理など要素技術の確立		+	++	-	++
				ᆚᄔᅷᄺᅸᆇᆉᄼᄼᆂᄊᆣᄓᄜᆘᆉᄀᆉᄼᆥᅩᅐᅓᆠ	21世紀の水問題の解決、資源循環型社会、ならびに地球温暖	都市空間形成技術の確立	多元的な時空間視座に基づく都市空間形成技術の確立		+++	++	+	++
	学			地球環境持続性に関する技術の確立	化時代の環境管理と防災技術の検討	環境目標・規準の設定 は特別なのは第二条まるは後の状态	環境評価技術の確立			++	+	++
	術					持続型社会の構築に資する技術の拡充	自立・循環型都市構造概念の提案 設計・事業評価基準の確立		+++	++	+	++
	技			 先端学術領域の調査·研究の推進	時限方式や公募方式の小委員会による萌芽的、学際的課題への対応	元 方書, 指針, 其準等の充実	土木全体の視点からの体系づけ整備	+++	+++-	0	+	++
	術の進歩への貢			総合・横断型研究開発の体制確立	社会の需要に対応した委員会の再編、統廃合の推進	調査研究部門の委員会再編	検討体制の明確化	0 0			+	+++
					江ムの市女に対応した女皇ムの行綱、が成代目の正定	国土・社会資本に関わる主要な社会問題への対応体制の確立	特別研究プロジェクト委員会の活性化		0	++	+	+
						学術行政機関との連携	政策提言の発信	0	0	++	+	+
				 技術評価制度の確立	 技術評価制度に対する外部評価の獲得	技術評価制度の実績作り	PR、運用実績の蓄積		0	+	-	++
		c)技術蓄積·移 転性	技術の蓄積機能が不十分 技術が他国に移転されない	「土木総合情報プラットホーム」の構築	技術の蓄積と技術改良のための活用可能なシステムの構築・充実		アクセスが容易なシステムの構築			00	_	\forall
	献			The second secon		技術映像データベースの充実	画像情報や動画を含むデジタルファイルの収集・提供			+++	+	+
						土木貴重資料デジタルアーカイブスの整備	既存データのデジタル処理とアクセスが容易な機能の充実	0	0	++	+	+
						土木学会出版物の電子ジャーナル化とオンデマンド提供	論文複写サービスのデジタル配信機能の実現	0	0	+	+	+
						土木情報関連リンクの提供と双方向機能の構築	文献情報の電子リファレンスサービスの提供など	00	0			
土木工学)進歩および				会員向けサービスの充実	様々なレベルの情報の階層管理に向けた、ルール、標準化、	最適な情報をタイムリーに発信する会員向けサイトの構築	会員データベースに基づ〈認証機能の導入による情報収集機能の充実	0	0	0		0
ルベル は大事業の					フォーマット統一の実施	支部活動への支援と連携	会員情報の共有化などによる情報伝達の促進	00		0		
発達						中高年技術者の活用	技術者資格制度との連動を視野に入れた中高年技術者のDBの整備		0			
土木技術						アジアを中心とする海外学協会との情報交換	海外共有ネットワークの検討		0			
者の	2	d) 会員教育制原	会員の視野の狭さ(自然や社会に対する広い教養と土木に対する深い考察不足) 生涯教育の機会不足 技術が正当に評価されていない	継続教育制度の充実	国際的に通用する継続的な専門能力開発プログラムの実現	継続教育プログラムの充実	調査研究部門や支部との連携による継続教育プログラムの充実		0			
資質向上	· 숲						建設系CPD協議会(仮称)の設立の実現	C	0 0			
学術文化	員資質			土木学会認定技術者資格制度の確立	資格制度の活用の推進	土木学会認定技術者資格制度の円滑な立ち上げ	実施体制の整備と学会活動への活用				_	Ш
の R 1:対 4 4 6							制度の本格的活用に向けた働きかけ			_	_	1
展と社会の 発展	<u>چ</u>			技術者登録制度の充実	資格制度との効率的連携	技術者DBの基本仕様の設計・運用	技術者資格制度との連動を視野に入れた中高年技術者のDBの整備			+	+	0
	白顧			国際的に通用する大学教育支援	JABEE審査チームの効率的編成(審査長、審査員候補の継続的確保)	国際的に通用する大学教育支援	JABEE審査チームの効率的編成プログラムの確立		10	++	_	_
~ に寄 与	上海	e) 情報取得機 会の拡大	会員相互、学会と会員の交流不足 会員が欲しい情報が得られない	会員資質の向上と会員満足度の向上	学会と会員、会員間のコミュニケーションシステムの構築	会員と学会および会員相互のインターフェース機能の強化	情報交換・共有のためのインターフェイス機能の強化	0	+++		_	0
٦	足				会員向け広報戦略の立案	会員ニーズの的確な把握と反映体制の構築 広報戦略立案の一元化	サービス窓口の明確化 組織体制の見直し	0				0
	度	f) 会員の維持・	文系出身者や外国人会員が少ない 会員がサービスに十分満足していない	会員の増強	社会の新しいニーズに対応するための会員の属性拡大と多様性確保	資格制度,継続教育制度と連動した会員増強戦略の立案	形態・会費額に幅をもたせた会員制度の導入の検討	\rightarrow	+++		+	\vdash
1	(c s) 0			云貝の指弦	社会の利の11人に対応するための会員の属性拡入と多様性唯体	貝恰前皮, 粒烷教育前及C運動Uに云貝培理製品の立余	別連周辺領域の非会員に向けた学会情報の提供とPR方法の検討		+++	++	+	\vdash
		多様性確保				会員データ管理体制の確立	データの共有化と管理の一元化の促進					+
				 会員制度の見直し	 会員区分に応じたサービスやサービスの質的・量的向上	会員資格と会員区分の見直し	会員特典の再検討ならびに関連学会員の勧誘		+	++	_	\vdash
	– –			土木技術者の社会貢献と地位向上	社会との連携の推進と中立的専門家集団としての貢献	社会的認知の向上	社会的に高いモラルを求められる活動への参画による学会、技術者の社会的認知の向上	0	+++	++	+	т
	3 · 国 内		土木界内部の閉じこもり 中立性を社会に認知されていない 研究者が利用できる技術情報の不足 低成長、選択の時代に適合した土木シ ステムの不在(計画、事業実施体制)			技術者資格の確立と認知	既存の法的資格制度との違いを明確にし、包括的資格としての定着		0			T
		g) 公正・中立な		情報の提供	専門家と市民が相互理解を可能とするコミュニケーションプラットフォームの構築	戦略的な情報発信	国土・社会資本に係わる主要な社会問題への対応・発信体制の整備	0	00			П
		立場からの専					NPO、NGOとの交流促進、市民との交流・情報提供の場の構築	00	0			
		門的知見の提				専門的知識に基づ〈事業の第三者評価の支援	各種事業評価委員会活動等に参加する会員への支援体制の整備	0				0
	国	供	へ, ムツツ牡(引回、尹耒夫虺体制)	適正な世論形成の支援	市民・行政・政策決定者との連携の推進	公開シンポジウムの開催などによる市民・行政との連携	社会的関心事をテーマとした公開シンポジウムの開催	0				
	際		先端技術情報の提供不足 ISOにおける技術照会への対応 国際的認知度の低さ 技術が他国に移転されない 技術が転の前の問題として、国内技術 情報が海外にほとんど伝わらない			教育への貢献	技術者教育・一般教育を対象とした公開講座、出張講座などの開催	0				
	社 会					広報の推進と各種事業への参画	合意形成過程への積極的な関与	0	0		$oldsymbol{oldsymbol{oldsymbol{oldsymbol{\bot}}}$	Ш
	に対する責任・活動	h)国際貢献		国際的に活動出来る技術者の育成と環境作り	蓄積した情報を活用し、国際化に即した国内の仕組みや技術者の検討	「国内の国際化」に向けての活動	海外建設事業、プロジェクトの紹介および情報の蓄積	,	0			
				情報の電子化	電子情報媒体による情報発信の充実	英語による海外に向けての情報発信	英語情報の整備と充実、英文論文集(インターナショナルジャーナル)の発行		0			
				土木界の新しいフロンティアの提示	日本の技術者の活躍の場の創出	アジア他学会との共同体制作り	協定学協会およびACECCとの活動の連携	0	0			
				海外共有ネットワーク(Web)の検討	Web環境の向上	会員制度の見直し(外国人会員の育成)	電子情報を主たる特典とした外国人会員制度の検討			$\perp \!\!\! \perp \!\!\! \perp$	\bot	0
						海外エンジニアとのネットワーク形成	他学会との共同セミナー・シンポジウム開催、海外の社会基盤事業・計画の情報提供		\bot		╨	0
			土木界の閉塞感	社会とのコミュニケーションを密にするためのインターフェース機能の強化	社会の土木工学への理解の向上を目的とする情報発信、社会 的問題に関する正確な情報発信	学会HPなどを活用した社会との情報受発信機能の強化	社会とのインターフェース機能の強化(コミュニケーションシステムの整備)	000		200	00	0
			認知度の低さ(胡散臭さ)		······································							, t , t
	32/3	ション 機能	海外への発信、連携が不十分				ホームページコンテンツの充実と各種情報の提供	'O O C		O O C	$O \mid C$	U